



別府湾腎泌尿器病院 病院長

佐藤 文憲氏

一貫した前立腺がん診療担う

内科主体の旧病院を前身に、泌尿器科の手術に対応した病院として再出発。まもなく3周年を迎える。一般病床26床、地域包括ケア病床34床を有し、泌尿器科と内科の2本柱で地域医療に取り組む。

腹腔鏡下手術支援ロボットを使った前立腺がんの手術は、2018年2月の開院から20年11月までに200例超を実施。昨年は腎がんに対するロボット支援腎部分切除術（腎機能を温存した低侵襲

手術）も開始した。診断にMRIと超音波による融合画像を使った針生検（がんが疑われる標的への狙撃生検）を行うなど、早期発見から治療まで、一貫してがんと向き合う。

前立腺がんは食生活の欧米化に伴い増えているがんの一つという。「採血で前立腺がんをスクリーニングするPSA検査は、希望すれば特定健診と同時に受けられる。50歳以上の人はぜひ検討してほ

しい」と呼び掛ける。高齢化に伴い発症しやすいがんでもあり、80〜90代の患者も来院する。放射線やホルモン療法なども選択肢に、体調や希望を勘案し治療方針を決める。尿管結石、前立腺肥大、女性

性の尿失禁、膀胱機能障害など、一般的な泌尿器科の疾患に苦しむ患者も多い。「訴えを丁寧に聞き、悩みを解決するために何ができるか、共に考える姿勢を大切にしています」と確たる信念を示す。

内科の医師や在宅ケアに携わる医師らと密に連携。「地域に密着した内科医療と、がん診療を中心とした泌尿器科の診

療という二つの強みを融合させていきたい。排尿に困っている地域の患者さんのケアも担っていくつもりです」と表情を引き締める。

大分大学医学部附属病院に長く勤務し、開院と同時に院長に就いた。「スタッフに支えられ、ここまで順調にやってこられている。患者さんとご家族に『治療を受けて良かった』と喜んでもらえる時がうれしい。一丸とならなければできない医療。意思統一の部分は大事にしています」。心を合わせ、住民の健康を守るという目標に向かい、今年もまい進する。



空撮した別府湾腎泌尿器病院の全景

病院DATA

●診療科目
泌尿器科・内科・循環器内科・糖尿病内科・婦人科
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科(局麻)

●診療時間
平日／9:00～12:30、13:30～17:30
土曜／9:00～12:30

●休診日
日曜、祝日、年末年始



別府湾腎泌尿器病院

別府市北石垣深町851番地
TEL0977-66-4111
<https://bbuh.jp>

